

令和7年度 第6回下呂市教育委員会会議録

- | | | | |
|------------|-------------------|---------|--|
| 1. 招 集 日 | 令和7年9月29日（月） | | |
| 2. 会 場 | 星雲会館 西風の間 | | |
| 3. 開会・閉会 | 午後4時00分 ～ 午後4時45分 | | |
| 4. 出 席 者 | 教 育 長 | 中 村 好 一 | |
| | 委 員 | 細 江 洋一郎 | |
| | 委 員 | 河 尻 明 子 | |
| | 委 員 | 三 木 朋 哉 | |
| | 委 員 | 竹 田 小 織 | |
| | 委 員 | 無 笹 ゆかり | |
| 5. 欠 席 者 | なし | | |
| 6. 委員の他出席者 | 教育委員会事務局長 | 山 中 明 美 | |
| | 教育総務課長 | 細 江 実 | |
| | 学校教育課長 | 武 田 由香里 | |
| | 文化財課課長補佐 | 永 田 靖 彦 | |
| | 学校給食センター所長 | 今 井 健 人 | |
| | 地域振興課長補佐 | 島 田 泰 明 | |
7. 付議案件
- | | |
|------|----------------------------------|
| 日程第1 | 会議録署名者の指名 |
| 日程第2 | 会期について |
| 日程第3 | 前回会議録の承認について |
| 日程第4 | 教育長報告及び事務局報告について |
| 日程第5 | 議第17号 下呂市遠距離通学補助金交付要綱を廃止する要綱について |
| 日程第6 | 議第18号 下呂市地域クラブ指導員の委嘱について |
| 日程第7 | 議第19号 下呂市地域学校協働活動推進員の委嘱について |
| 日程第8 | 協議、報告事項 |
| | ・下呂市遠距離通学補助金交付要綱について |
| | ・各課業務報告 |
| | ・その他 |

（開会に先立ち市民憲章の唱和）

教育長 これより、令和7年度第6回下呂市教育委員会を開会します。

教育長 日程第1、会議録署名者を指名します。本日、竹田小織委員にお願いします。

教育長 日程第2、会期について。会期は本日1日としてよろしいでしょうか。

（委員全員 異議なし）

それでは会期は本日1日といたします。

教育長 日程第3、前回会議の承認について、事務局より説明をお願いします。

(事務局長 会議録要旨を朗読)

教育長 ただ今の会議録にご異議がある方ありませんか。前回の会議について承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 それでは前回会議録について承認といたします。

教育長 日程第4、教育長報告及び事務局報告をいたします。

1. 9月定例議会の報告

9月2日より30日までの会期で9月定例議会が行われました。7名の議員さんから一般質問があり、私と事務局長で答弁をしました。

加藤久人議員からは、金山振興事務所4階にある郷土館の今後の方向性を問われました。市内の博物館施設を説明し、その中の金山郷土館は、振興事務所職員が管理や収蔵資料閲覧希望者への対応を行っていることを説明。今後は、案内表示を明確にするなど改善に努め、金山庁舎の活用と合わせて考えていくこと。収蔵品は、下呂ふるさと歴史記念館の企画展などで活用することを伝えました。

田中喜登議員からは、再質問でこども園と小学校の連携について問われました。昨年こども園・小中学校教育の方針と重点を策定し向かっていること。教職員の交流は、こども園の先生が卒園した子どもの姿を参観し交流したり、小学校の先生がこども園を参観し授業を行ったりしていること。子ども同士の交流は、一日入学などで小学1年生や5年生との交流を作ったり、運動会などの行事で交流を図ったりしていること。さらに今年度、金山小学校と金山こども園をモデル地域として連携の在り方を探っていることを伝えました。

中島ゆき子議員からは、令和7年度一般会計新規事業の進捗状況について問われました。萩原南中学校の屋内運動場照明のLED化事業、小坂中、萩原北中、萩原南中学校の特別教室へのエアコン設置、令和8年度新入学児童へのランドセル配布事業の申し込み状況について答えました。

下平裕次郎議員からは、下呂市の教育について4点問われました。

一点目は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実及び下呂学の取り組みの成果と今後について。全国学調の結果から個別最適な学びについての成果を示しました。全ての教科で全国や県の平均を上回っていること。無回答や下位の児童生徒が全国や県と比べて少ないこと。協働的な学びの成果として、「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という質問において、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、全国平均と比べて高いこと。今後は、協働的な学びの研究をさらに深め、個別最適な学びのために自ら学べる補助教材アプリを導入し、進めていくと答えました。下呂学については、全国学調の「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という質問においては、全国や県と比べて非常に高い値を示していること。地域行事やボランティア活動への児童生徒の参加率が高いこと。今後は、各校で行っている探究学習や貢献活動を交流する下呂学スピリット発表会を開催し、更なる発展を期待していると答えました。

二点目、異学年学級についての取り組み状況と今後の方向性について。小規模校において、総合的な学習の時間や各教科の中で異学年による学習を進めたり、朝の会や帰りの会、掃除を含む活動も異年齢の学級を作ったりしていること。全ての学校でも、規模や状況に応じて、学力や社会性を向上させる取組の一つとして工夫して実施しており、今後も各学校の状況に応じて更に推進していくと答えました。

三点目、情報発信の取組と課題。教育委員会の取組として、教育研究所のホームページに、各学校の行事や特記すべき活動を載せており、5か月間の視聴回数は、7万5千回に及んでいること。教育委員会のホームページに今年度中に下呂市の働き改革や部活動の地域展開などを載せていくこと。中学校においては、独自でインスタグラムを開き、情報教育の一環として自校の探究活動の様子や学校行事、地域の方との交流など発信していること。課題は、個人情報管理など、情報リテラシーとして子どもも教職員、保護者、教育委員会も学んでいかなければいけない状況になっていると答えました。

四点目は、猛暑や豪雨といった異常気象への対策としてのスクールバスの臨時運行について。熱中症対策や気象状況の悪化により、早期に帰宅した方がよいと判断した場合は、乗車場所を変更したり、時間を早めたりするなど臨時運行を今年度、3校で実施していたこと。今後も、スクールバスの柔軟な運用は、子どもの安全を確保する方法として学校の判断により行っていくと答えました。

田口琢弥議員からは、再質問で外国籍の高校生への支援について問われました。

下呂市として、外国籍の高校生への支援はないこと。学校教育においては、各校種によって支援があり、高校においても入学試験の配慮、支援員の加配制度、授業におけるICT機器の活用などがあること。高校のご意見を伺い、下呂市としてできることは支援していきたいと答えました。

尾里集務議員からは、放課後児童クラブについて、子育て関連から教育長の考えを問われました。思春期前の子どもの愛情の蓄積は、家族関係や自然の中で生まれてくると言われており、家族とのふれあいや近所の子どもたちと遊ぶなどの経験をたくさん与えてあげたい。しかし、核家族が進み、就労により家族とのふれあいが少なくなる状況や近所に子どもがおらず、自然の中での遊びなどができないという状況も生まれており、放課後児童クラブの異年齢集団による学習や遊びは、家族のサブシステムとして大切であること。今後、学校施設の活用、指導員の研修や児童の情報交流など学校との連携を深めていくこと。また、地域近所の中での子育てができるような地域コミュニティを作っていくため、各小学校のコミュニティースクール、運営協議会などで、今後のあるべき姿を探る動きも作っていききたいと答えました。

今井政良議員からは、小中学校の統合について問われました。統合についてのスタンスは、保護者や地域の思いを大切にしていくこと。中学校においては、生徒の思いも大切にしていくこと。全ての人が納得することは難しいが、熟議の中で学校の在り方は決定していくものだと考えていること。今後について、小坂中学校と萩原北中学校の動きを伝え、熟議をする中で、メリット、デメリットをは

っきりさせ、課題に対しての対応策については、教育委員会と学校も入り考えていくことが大切であること。また、統合や学校を残すという結果だけではなく、今後どんな学校を作っていくか、学校によって子どもたちにどんな力をつけられるかを考えていくことが大切と答えました。

2. ライオンズクラブからの寄付

9月11日ライオンズクラブ合同例会が下呂交流会館であり、出席しました。ライオンズクラブから外国籍児童生徒の学習支援に関する教材、連結スクリーンホワイトボードや指導用教材など30万円相当を贈呈していただき、お礼を言ってきました。外国人適応支援学級にて活用させていただきます。

教育長 続きまして、事務局報告をお願いします。

事務局長 教育委員会への寄附について、ご報告させていただきます。

8月26日の学校給食へ萩原町宮田の谷下農園様から有機栽培の大玉トマト22kgをいただきました。谷下農園様からは令和5年度から毎年、有機栽培トマトをご寄附いただいております。本当にありがたいことです。市長からのお礼状のほか、子どもたちからも感謝の気持ちを伝えていただこうということで、今回は宮田小学校の児童が代表でお礼の手紙を書きました。

教育長 教育長報告及び事務局報告について、ご質問、ご意見はありませんか。
(質疑等なし)

教育長 教育長報告及び事務局報告は、以上で終わらせていただきます。

教育長 続きまして、日程第5、議第17号 下呂市遠距離通学補助金交付要綱を廃止する要綱について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長 説明)

教育長 廃止するということについて、何かご意見ご質問はございませんか。内容については、後ほどということですのでよろしいでしょうか。

(質疑等なし)

教育長 議第17号について、承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 全員挙手、承認いたします。

教育長 日程第6、議第18号 下呂市地域クラブ指導員の委嘱について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長 説明)

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。

(質疑等なし)

教育長 議第18号について、承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 全員挙手、承認いたします。

教育長 日程第7、議第19号 下呂市地域学校協働活動推進員の委嘱について、事務局の説明を求めます。

(地域振興課長補佐 説明)

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。

(質疑等なし)

教育長 議第 19 号について、承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 全員挙手、承認いたします。

教育長 日程第 8、協議、報告事項になります。

先ほど議題にありました、下呂市遠距離通学補助金交付要綱について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長が資料に基づき説明)

教育長 少し付け加えて話をさせていただきますと、現在、外国籍児童生徒の指導ができる場所は、下呂小学校の適応支援教室と下呂中学校の適応支援教室の 2 箇所です。これらはすでに外国籍の子どもたちが多数在籍しています。今回は萩原の子でしたが、萩原にはまだ指導対象者がいないため開設していませんでしたので、何もできないところへ行くよりもある程度指導ができるところに行った方が良さだろうということで、小学 6 年生の子が下呂小学校へ通うことになりました。もう 1 人、ネパール出身で高校 1 年生の子ですが、勉強して高校へ行きたい意向なので、下呂中学校の適応支援学級で勉強することになります。そのために鉄道を使うということになりますので、子どもたちのために、この制度を実施していきたいと考えます。

次年度につきましては、萩原小学校に外国籍の子が 1 人来ますので、適応支援学級を作っていこうと思っております。よろしくお願いします。

教育長 何かご意見ご質問はございませんか。

教育長 それでは、各課から業務報告をお願いします。

(教育総務課長が業務報告について説明)

(学校教育課長が業務報告について説明)

(文化財課長補佐が業務報告について説明)

(地域振興課長補佐が業務報告について説明)

教育長 各課業務報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

三木委員 下呂中学校の運動会は 26 日に変更になったという認識でよろしいでしょうか。

学校教育課長 9 月 25 日が 26 日に雨のため延期ということで、よろしくお願いします。

教育長 その他、何かありますか。

(学校教育課長が下呂市教育委員会学校訪問、下呂中学校「令和の学び学習公表会、中学校音楽会について説明)

教育長 学校訪問につきまして、見ていただく学校については、この資料の内容に基づき動いていますので、ご意見をいただければありがたいと思います。教育委員の皆様のご意見は、教員にはない視点からいただきますので、これ以外の点でも遠慮なく言っていただくことが大切だと思います。どうかよろしくお願いいたします。

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。

(質疑等なし)

教育長 その他、何かありますか。

地域振興課長補佐 前回第5回教育委員会の中で、子ども会の人数についてお答えしなかったもので、ご報告させていただきます。子ども会につきましては補助金と関連性があり、令和7年度は集計中のため、令和3年から6年の状況をご報告させていただきます。令和3年は86団体で会員数が2,053名。令和4年が82団体で2,023名。令和5年が74団体で1,870名。令和6年が65団体で1,610名です。地域別に見ますと、他の地域は微減なのですが、金山地域が特に減少しています。元々、金山の地区は非常に小さい地区で構成されており、子どもがいない、または子どもが少ないという理由で活動を休止されたり解散されたりすることが多いと認識しております。今後、地区単位ではなかなかカバーしきれないため、以前お話ししましたが、地域をまとめるような組織を想定しており、地域づくりを進めるような組織の中で、こういった子ども会の課題も提案し、市全体で取り組むような仕組みを、我々も提案・支援していかなければならないと考えております。

教育長 小さな地区の子ども会がなくなる場合、その子どもたちは隣の子ども会へ移るようなことはあるのでしょうか。

地域振興課長補佐 合併という事例があることも伺っております。しかし、数自体が減っているという現状からすると、合併よりも休止や解散といった形で、活動自体が停止しているところの方が多い現状がございます。

教育長 他に何かご意見ご質問はございませんか。
(質疑等なし)

教育長 その他、何かありますか。
(教育総務課長がランドセル無償配付事業における入学祝金の支給について、ランドセル配付事業利用後アンケート結果について、資料に基づき説明)

事務局長 補足させていただきます。先日の議会の民生教育まちづくり常任委員会の中で説明させていただきました。その中でランドセルに関するアンケート結果から、祝金を受け取った方の満足度がランドセルを受け取った方に比べて低かったことが指摘され、祝金について考えたかどうかというお話がありました。私の方からは入学祝金の使途について、半分の方は子どものことに使っていられっしゃいますが、貯金やまだ使っていないという方が3割ほど、生活費も入れると4割超の方が子どものことに使っていないことに触れさせていただきました。議員から、ランドセルが必要な人だけに支援してはどうかというご意見もいただきましたので、私の方からも来年度以降の入学祝金のあり方について考えたいということをお話ししました。

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。
(質疑等なし)

教育長 その他、何かありますか。
(文化財課長補佐が縄文公園の復元住居解体イベントについて報告)

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。
(質疑等なし)

教育長 その他、何かありますか。

教育長 他に質問やご意見はございませんでしょうか。
(質疑等なし)

教育長 次回の教育委員会を10月31日に開催することとし、これをもちまして第6回
下呂市教育委員会を閉会いたします。

以上、本日の会議の顚末を記載し、相違ないことを証明するため署名する。

令和7年9月29日